

【私たちが目指す地域の姿】

人と人のつながりを大切にし、身近な世の中を幸せにする人が増え続ける地域



株式会社湘南ベルマーレフットサルクラブ
インパクトレポート

地域課題の整理

現状

- 地域内の一部の人のみが社会課題解決に取り組んでいる。
- ローカル・ゼブラ企業も生まれているが、地域内で連携を作るのに苦労している。
- 他にも、問題意識を持ち何かアクションを起こしたいが、どう関わったらいいかわからないという人も少なくない。地域外のプロ人材の力も現状ではほとんど借りられていない。
- (湘南ベルマーレフットサルクラブが社会課題解決事業を行ってきた中で把握している一次情報)



理想

- 神奈川県西部には数多くの社会課題が存在している。
- 人口減少時代の突入に伴い、今後も新たな課題がどんどん生まれてくることが予想される。
- それらの社会課題に問題意識を持ち行動する人を増やすとともに、その人達が連携して社会課題解決が自律的に進んでいる状態を神奈川県西部に作る。

■課題(理想と現状のギャップを埋めるためにやるべきこと)

地域内外の様々な人・企業・団体と連携し課題解決を推進する存在が必要。

湘南ベルマーレフットサルクラブ(地域プロスポーツクラブ)が中間支援者となり

社会課題の解決に取り組む人やローカル・ゼブラ企業を増やすとともに、

域外の人材や企業の協力も得ながら社会課題解決が自律的に進んでいく仕組みを作りあげる。

【神奈川県西部で顕在化している社会課題の例】

1. 少子高齢化と人口減少

- 若年層が都市部へ流出し、労働力不足が深刻化。
- 高齢化に伴う医療・福祉サービスの負担増。

2. 産業基盤の脆弱性

- 伝統産業や観光業に依存する経済構造が、新たな競争力を持つ産業の育成を妨げている。
- デジタル技術や革新の活用が進んでいない。

3. 地域コミュニティの分断

- 地域行事や文化の担い手不足により、住民間のつながりが希薄化。
- 高齢者の孤立や若者の地元定着率低下。

湘南ベルマーレフットサルクラブに対する地域の期待

<関係者ヒアリングの声>



湘南ベルマーレフットサルクラブと連携しながら、地域課題を解決するプロジェクトを次々と生み出したい。防災アイデアや、地域の人々が楽しみながら学べるイベントを企画して、地域社会への貢献をさらに広げていきたい。

【株式会社トヨコン様】



湘南ベルマーレフットサルクラブが持つ「つなぐ力」は、他のスポーツクラブにはない強み。この力をさらに発揮して、地域の多様なステークホルダーを結びつけてほしい。

【合同会社こっから様】



湘南ベルマーレフットサルクラブが初めの一步を踏み出したことで、他のプロスポーツチームや企業が安心して連携に乗り出せる環境が生まれている。

【BREATHER株式会社様】

湘南ベルマーレフットサルクラブと組むことで、「ベルマーレと協働しているなら信頼できる」という評価を多くの人々から得られるようになった。この信頼は活動の幅を広げる大きな力となり、新しい連携のきっかけを生み出している。



【株式会社ハシタス様】

湘南ベルマーレフットサルクラブのような地域密着型の組織と協力することで、これまで届かなかった層にもアプローチできるようになった。たとえば、ホームゲームを通じて高齢者や家族層への健康啓発が可能になり、地域全体での課題解決の基盤が広がった。

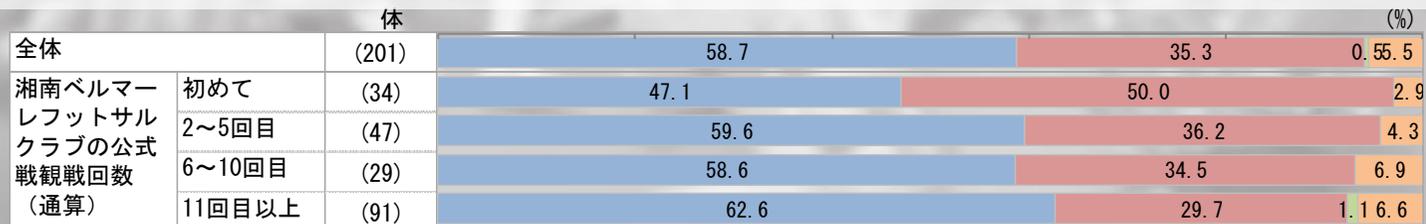


【株式会社CogSmart様】

<来場者アンケート結果>

湘南ベルマーレフットサルクラブが社会課題解決に積極的に取り組むことは応援意向を高める効果あり。これにより集客増が期待でき、事業成長に好影響。

質問：湘南ベルマーレフットサルクラブと選手たちが地域の社会課題解決に積極的に取り組んでいることは、チームに対するあなたの気持ちにどのような影響があるか？



■ 応援したい気持ちが高まる ■ 応援したい気持ちがやや高まる ■ 応援したい気持ちが低下する ■ 特に影響はない

ロジックモデルとインパクトKPI

<ロジックモデル> 強みを活かして社会課題解決/社会貢献&新たな収益事業に注力することで社会性と競技性の両立を実現。



<インパクトKPI>

- 社会課題解決プロジェクトの実施数 (累計160) および参加者数 (累計1,600人) ※実施数は、2026-27シーズン終了までに160のプロジェクトを立ち上げることを表明済み
- 湘南ベルマーレフットサルクラブと関わることで新たに域外協力者となった人の数 (研修参加やPoC、副業等を経て) (年間100人以上)

湘南ベルマーレフットサルクラブの短期的な事業成長目標

前ページのロジックモデルを実行することでトップラインを伸ばし、競技性の向上を実現していく。



現在



今後の展望

注力!

社会課題解決事業に対する
寄附(BtoC事業)

注力!

強みを活かした
BtoB事業 / BtoC事業

来場者を増やして
物販収入も増やす

共感者を来場者に変え、
チケット収入を増やす

社会課題解決推進に共感
してくれるスポンサーを増やす

地域のローカルゼブラの事業概要 1/2

法人名	事業概要	湘南ベルマーレフットサルクラブが支援している内容
ミリョクリエ	<ul style="list-style-type: none">医療福祉、スポーツ、企業コンサルティングの各分野で豊富な経験を持つメンバーが集まり、現代社会が抱える高齢化、貧困、環境汚染、健康格差、地域格差などの複雑な課題に取り組む企業。主にコミュニティ運営、勉強会、研修事業を通じ、住民、教育機関、地域企業、自治体、金融機関など多様なステークホルダーを巻き込み、地域の社会課題を自分ごとと捉える主体者を増やすことで、社会に良い変化(社会的インパクト)を創出することを目指している。	<ul style="list-style-type: none">事業目的が類似しているため、伴走支援を主軸とした協働が支援内容となる。ベルマーレは、スポーツ分野での経験と地域密着の強みを活かし、ミリョクリエが取り組む医療福祉、スポーツ、企業コンサルティングといった多岐にわたる分野でのプロジェクトに対し、ネットワーク構築の面で寄与できると考える。双方は、住民、教育機関、地域企業、自治体、金融機関など多様なステークホルダーを巻き込みながら、地域課題を自分ごととして捉える主体者の育成を推進し、共に社会に良い変化をもたらすために歩みを進めている。
PEACE JOINT	<ul style="list-style-type: none">飼育放棄や殺処分、野良動物の増加、無計画な繁殖、保護動物の譲渡促進、動物福祉と権利の確立という社会課題に対し、動物保護団体の広報支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none">年に1回湘南ベルマーレフットサルクラブのエキシビジョンマッチに合わせ、動物保護をテーマにしたイベントを共同開催。そのほかに神奈川県や地方自治体との繋ぎ合わせに関与し、多くのメディア露出を支援している。

地域のローカルゼブラの事業概要 2/2

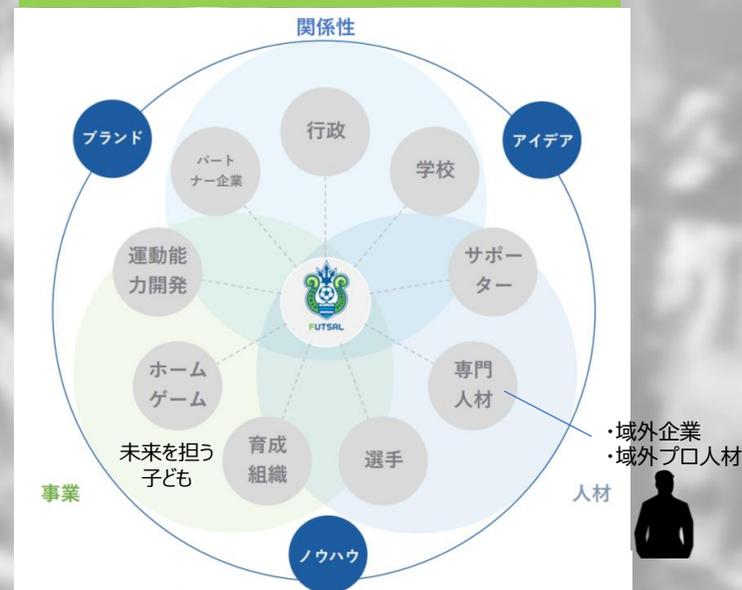
法人名	事業概要	湘南ベルマーレフットサルクラブが支援している内容
トヨコン	<ul style="list-style-type: none">段ボール梱包企業として、すぐに廃棄される段ボールの別転用施策を練る中で、おもちゃや備品にトランスフォームする「トラダン」という企画を進行している。	<ul style="list-style-type: none">東日本大震災に関連して避難所生活を送る子供のおもちゃがなく、遊ぶ機会が少なくなり精神的にストレスが大変だったという話をもちかけ、災害時のおもちゃにトランスフォームする段ボールの監修に関与。出来上がった製品をPRするイベントに選手を派遣し、PR支援も行う。
フットサルリボン	<ul style="list-style-type: none">小児がんは治療法や医療体制が未成熟で、長期治療や家族の経済負担が大きい社会課題。治療研究の推進、家族支援、教育環境の整備、社会的理解の向上が求められている。フットサルリボンは、スポーツを通じて小児がんの啓蒙啓発活動を行っている。	<ul style="list-style-type: none">Jリーグ、Fリーグ会場での募金活動の他、イベントへのセンスの派遣、毎年9月には「グローバルゴールドセプテンバーキャンペーン」に合わせて、行政の保有するライトアップができる建物やモニュメントをゴールドにしてもらい、キャンペーンの後方支援を行う。
ハシタス	<ul style="list-style-type: none">ITソリューションを活用した形での動物愛護活動企業。QRコードタグを活用したペット探索システムサービスを展開。	<ul style="list-style-type: none">選手が飼うペットにサービスの導入を行いPR支援や、開催するペット防災イベントへの選手/選手ペットの派遣、自治体との連携サポートを行う。

地域エコシステムの全体像と湘南ベルマーレフットサルクラブのビジョン

<地域エコシステムの全体像>



湘南ベルマーレフットサルクラブが持つ知的財産



<地域エコシステムの概要>

- ◆湘南ベルマーレフットサルクラブが地域のハブとなり、保有している知的財産をフル活用してローカル・ゼブラ企業や各種団体の社会課題解決事業を支援する。
- ◆ローカル・ゼブラ企業や各種団体は、地域内の信頼を得やすくなり、事業活動がしやすくなる。また、必要なパートナーや協力者を域内外から見つけやすくなる。
- ◆これにより、身近な社会課題解決に取り組む人が地域内に増えていき、解決される社会課題、および幸せを感じる人も増えていく。

<湘南ベルマーレフットサルクラブのビジョン>

人と人のつながりを大切にし、身近な世の中を幸せにする人を増やす。

これまでの検討の流れ

STEP
1

クラブのこれまでの社会課題解決プロジェクトの個別精査

- ◆これまで実施した全プロジェクトの個別精査を通じて、それぞれの事業拡張性や実施目的・優先順位づけを複数社視点で考査。

STEP
2

クラブとしての「勝ち筋」の再設計

- ◆クラブのスポーツ面／ソーシャル面の収益構造分析からみた新しいキャッシュポイントの考査や市民・企業の巻き込み方戦略を検討。

STEP
3

中間支援支援機能としての可能性検討と域内外の企業ヒアリング

- ◆クラブの地域におけるソーシャルインパクト設計における中間支援機能としての可能性を域内外の企業からヒアリング。(域内／地域内ゼブラ企業や商工会・クラブスポンサー企業へのヒアリング・域外／都市部の大企業向けにヒアリング会を開催)

▶ クラブとして「中間支援機能」としての機能価値を再認識
→事務局相談の上、方向性を修正

STEP
4

市民向けアンケートの実施

- ◆小田原市内で実施のホームゲーム開催に合わせて来場市民向けに地域におけるクラブの存在価値・支援意向を調査。
(ホームゲーム来場約1,000名を対象に、入場時にアンケート協力を呼びかけ → 結果、201名から回答あり)

STEP
5

全STEPを踏まえたロジックモデルの設計／インパクトレポートの作成

事業成果と今後の展望

<事業成果>

- 社会性を追求しながら経済性と競技性も追求できることをロジックモデルとして可視化できた。
- 地域中間支援機能としての有用性や地域からの期待を確認できた。

<今後の展望>

- 下図の取り組みを行い、社会性と経済性の両立を加速させる。
- 本事業で作成したロジックモデルを湘南ベルマーレフットサルクラブモデルとして全国のスポーツ団体に展開し、スポーツ団体を地域中間支援機能とした地域創生が日本中に広がっていくようにする。

